I·O DATA

地上デジタル放送チューナー搭載
23.6型　液晶ディスプレイ

DIOS-242ZR
取扱説明書



株式会社アイ・オー・データ機器

本書は、必要なときにすぐに手に取れる所に保管してください。

M-MANU201002-02
B-MANU201600-02

目次

安全にお使いいただくために

本書には、ご使用の際に重要な情報や、お客様や他の人々の危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。本書は、必要なときにすぐ参照できるように、お手元に置いてご使用ください。お子様がお使いになるときは、保護者のかたが取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

● 危険、警告および注意表示	
⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

● 絵記号の意味	
🚫	禁止
❗	指示を守る

⚠危険



本製品を修理・分解・改造しない

火災や感電、破裂、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

⚠警告



異常な音や臭いがしたり、発熱、発煙したときは、すぐに使用を中止し、弊社サポートセンターに問い合わせる

電源を切って、AC コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本製品の設置作業前に、本製品を接続する機器およびそれの周辺機器の電源を切り、AC コンセントからプラグを抜く

プラグを抜かずに作業を行うと、感電および故障の原因となります。



本製品のケーブルについて、以下を厳守する

● 接続ケーブルなどの部品は、添付品または指定品をお使いください。指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
● ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
● 接続するコネクターやケーブルを正しくつないでください。
間違えると、コネクターやケーブルから発煙したり火災の原因になります。



本製品の移動の際は、本製品を接続している機器・周辺機器および本製品の電源を切り、AC コンセントからプラグを抜く

他の機器とつないでいるケーブルを抜かずに移動すると、引っかかってけがをするおそれがあります。
電源プラグを抜かずに移動すると、感電および故障の原因となります。



本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使用しない

●火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
●表示面に水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合は、すぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ浸入すると、故障の原因になります。



ぬれた手で本製品を扱わない

感電や、本製品の故障の原因となります。



あお向け、横たおし、逆さまにして使用しない

内部に熱がこもり、発火のおそれがあります。



本製品を AC100V 以外の電源電圧で使用しない



液晶パネルから漏れた液体（液晶）には触れない

誤って液晶パネルの表示面を破壊し､中の液体（液晶）が漏れた場合には､液体を口にしたり､吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で 5 分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液晶が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めるおそれがあります。



梱包用のビニール袋や取り外した小さな部品（キャップやネジなど）については、以下を行わない

●梱包用のビニール袋や取り外した小さな部品（キャップやネジなど）は、幼児や子供の手の届くところに保管しないでください。ビニール袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の恐れがあります。
●万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。
●ビニール袋は、可燃物ですので、火のそばに置かないでください。



AC ケーブルについて、以下のことを厳守する

● 必ず添付または指定の AC ケーブルを使用してください。
● AC ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
● AC ケーブルを AC コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
● AC ケーブルの電源プラグは、ぬれた手で AC コンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
● 本製品を長時間使わない場合は、AC ケーブルを電源から抜いてください。AC ケーブルを長時間接続していると、電力消費・発熱します。
● 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根本までしっかり差し込んでください。ほこりなどが付着していると接触不良で火災の原因となります。



電池の液が漏れたときは以下の指示に従う

直ちに火気より離してください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

液が漏れたとき ➡	漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池を入れてください。
液が目に入ったとき ➡	目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
液が体や衣服についたとき ➡	すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



電池が発熱したり、変な臭いや変色変形などしたら、使用を止める

そのまま使うと、爆発・火災・けがの原因となります。
使用を止め、弊社サポートセンターにご連絡ください。



電池は、乳幼児や子供の手の届くところに置かない

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

飲み込んだとき ➡	ただちに医師に相談してください。



添付の電池を充電しない

液が漏れて、けがややけどの原因となります。



電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従う

⚠ 注意



ケーブルについて

- ケーブルは足などに引っ掛からないように､配線してください。足などを引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります。
- 熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。
- 動作中にケーブルを激しく動かさないでください。接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因になります。



目を守るため、以下のことを厳守する（眼精疲労について）

長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

- ディスプレイを見る作業を続けるときは、作業場を 300 ～ 1000 ルクスの明るさにしてください。
- 連続作業をするときは、 1 時間に 10 分から 15 分程度の休憩をとってください。



ディスプレイの角度・高さ調整時に、指をはさまないように気を付ける

けがをするおそれがあります。



電池は、以下の注意事項を留意する

発熱、破裂、発火、液漏れにより、けがややけどの原因となります。

- 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、60℃以上の場所、車中に放置しないでください。
- 水などでぬらしたりしないでください。
- （＋）（－）を逆に接続しないでください。
- （＋）（－）を金属類で短絡させたり、はんだ等を使用しないでください。
- ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばないでください。
- 定格条件以外での使用をしないでください。
- くぎを刺したり、分解・改造をしないでください。
- 投げる、ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えないでください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 指定された型以外の電池を使わない。
- 容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。



電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となります。

使用上の注意

以下のような場所で保管・使用しない

故障の原因になることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 温湿度差の激しい場所
- 傾いた場所
- 屋外
- 湿気やホコリが多い場所
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 静電気の影響の強い場所
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_X など）
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）
- 強い磁力・電波の発生する物の近く（携帯電話、磁石、ラジオ、無線機など）

≪使用時のみの制限≫

- 保温、保湿性の高いものの近く
  （じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- 通気孔がふさがるような場所

本製品は精密部品のため、以下を行わない

- 落としたり、衝撃を加えたりしないでください。
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かないでください。
- 重いものを上にのせないでください。
- 本製品内部およびコネクター部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。
- 台座を持って本製品を移動させないでください。

画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。焼き付きを防ぐために次のことを行ってください。

- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切ってください。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能をご使用ください。

お手入れのために

- 表示面が汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭き取ってください。
- 表示面以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- 表示面に水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因になります。

バックライトについて

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。

※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

VCCI 規格について

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

連続使用について

本製品は、24 時間連続使用を前提とした設計ではございません。有寿命部品の消耗を加速させる原因となりますので、24 時間連続でのご利用は避けてください。

そのほか

- ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
- 表示部の周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。ディスプレイ部が破損するおそれがあります。
- ディスプレイ部の表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押したり、叩いたり、こすったりしないでください。
- 表示面上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは、液晶パネル自体が 99.9995%以上の有効画素と 0.0005%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 見る角度や温度変化によっても色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイの回収・リサイクルについて

弊社では製品のリサイクルの容易さや電力消費の抑制など環境負荷を軽減する製品開発を進めています。
液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルにご協力をお願いいたします。

法人のお客様は

弊社では、法人のお客様がご不要になった弊社製 液晶ディスプレイ製品の回収・リサイクルのご案内や料金のお見積もりを行っております。詳細は下記リサイクル窓口「アイ・オー エコステーション」までお問い合わせください。

ご家庭でお使いのお客様は

弊社では「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で排出される弊社製 液晶ディスプレイのリサイクルを実施しています。
回収された液晶ディスプレイは、新たな資源として生まれ変わります。この取り組みを通じて、弊社はユーザーの皆様とともに地球環境保全の活動を進めてまいります。
回収・リサイクルのご案内、お申し込みについては、下記、リサイクル窓口「アイ・オー エコステーション」にて承ります。

￥料金について



液晶ディスプレイ本体の「PC リサイクルマーク」の有無により料金が異なります。なお、PC リサイクルマークがない弊社製液晶ディスプレイを 2003 年 10 月 1 日以降にご購入、ご家庭でご利用いただきましたお客様には、弊社が無料で PC リサイクルマークを提供し、回収・再資源化いたします。詳細は弊社ホームページをご覧ください。
http://www.iodata.jp/support/



■リサイクル窓口
「アイ・オー エコステーション」専用ダイヤル
電話：076-260-3616
※受付時間　9：30 ～ 12：00/13：00 ～ 17：00　月～金曜日（祝祭日を除く）
※リサイクルに関するお問い合わせのみ承っております。
　その他のご質問につきましては、「お問い合わせ窓口」へご相談ください。

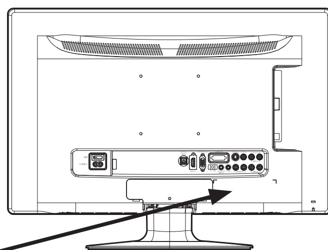
あらかじめご承知ください

- 本製品は、（社）電波産業会 (ARIB) の策定規格に基づいた仕様となります。
  将来規格に変更があった場合は、事前の予告なく本製品の仕様を変更することがあります。
- 同梱されている miniB-CAS カードは、地上デジタル放送を視聴していただくための大切なカードです。ご使用の際はカードが添付されている紙面の内容を必ず理解した上で、カードを取り出してください。
  miniB-CAS カードの取り扱い、保管はお客様ご自身の責任となります。万一、破損、故障、紛失した場合は、B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。
- メールなどのデジタル放送に関する情報は、本製品が記録します。万一、本製品の不具合によってこれらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- DVD レコーダーやビデオデッキなどで録画・録音を行ったものは、個人鑑賞のみお楽しみいただけます。著作権法上権利者に無断で使用する事は禁止されています。
- 地上デジタル放送はコピー制御されています。制御に関する一般的な内容は（社）デジタル放送推進協会 (Dpa) のホームページをご覧ください。
  http://www.dpa.or.jp/

memo

お使いになる前に

ご使用の前に、箱の内容物、各部の名前・機能を確認します。



シリアル番号（S/N）について

ユーザー登録をする際に S/N(シリアル番号) が必要な場合があります。
S/N は本製品の背面に貼られているシールに印字されている 12 桁の英数字です。(例：ABC1234567ZX)

▼ S/N（シリアル番号）をメモしてください。

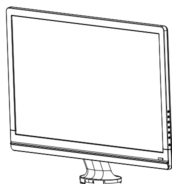
●ユーザー登録

⇒ http://www.iodata.jp/regist/

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□ にチェックをつけながら、ご確認ください。

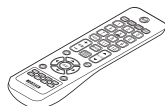
□ 液晶ディスプレイ本体（1 台）



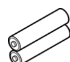
□ 台座（1 個）



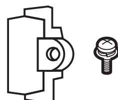
□ リモコン（1 個）



□ 単 4 乾電池（2 個 : 動作確認用）



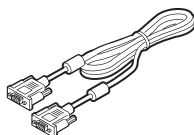
□ miniB-CAS カードカバー一式
（カバー 1 個　ネジ 1 個）



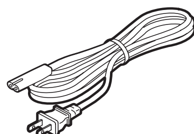
☑ 取扱説明書（1 冊 : 本書）

本書巻末に「ハードウェア保証書」
が印刷されています。

□ アナログ接続ケーブル（1 本 : 約 1.8m）



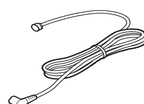
□ AC ケーブル（1 本 : 約 1.8m）



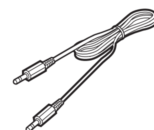
□ miniB-CAS カード（1 枚）



□ アンテナケーブル（1 本 : 約 1.8m）



□ オーディオケーブル（1 本 : 約 1.8m）

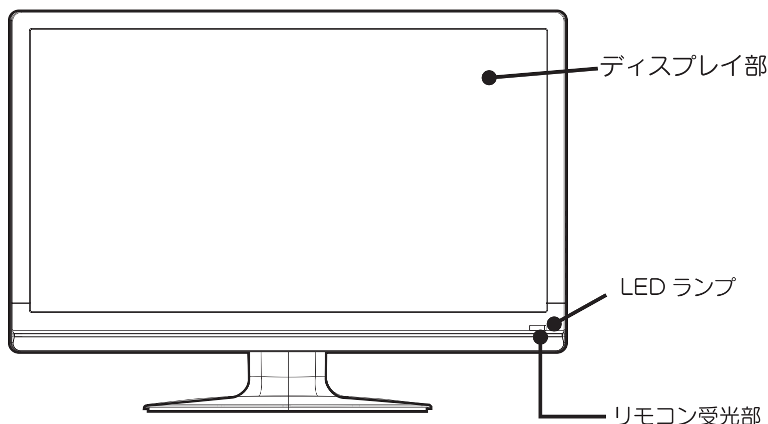


- 万一、不足がございましたら弊社サポートセンターまでお知らせください。
- 箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
- 付属品の形状は記載の内容と若干異なる場合があります。

各部のなまえ

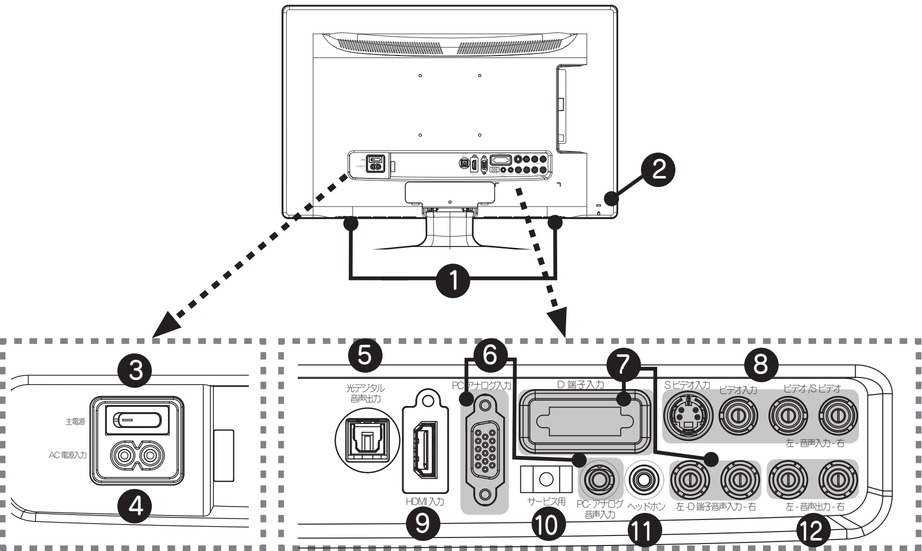
以下の図を参照しながら、各部分の名称と機能をご確認ください。

■本体　正面



名称	機能
ディスプレイ部	映像を表示します。
LED ランプ	電源をオンにすると青色に点灯します。電源オフ時はオレンジになります。メイン電源をオフにすると消灯します。
リモコン受光部	リモコンの信号を受信する部分です。

■本体　背面



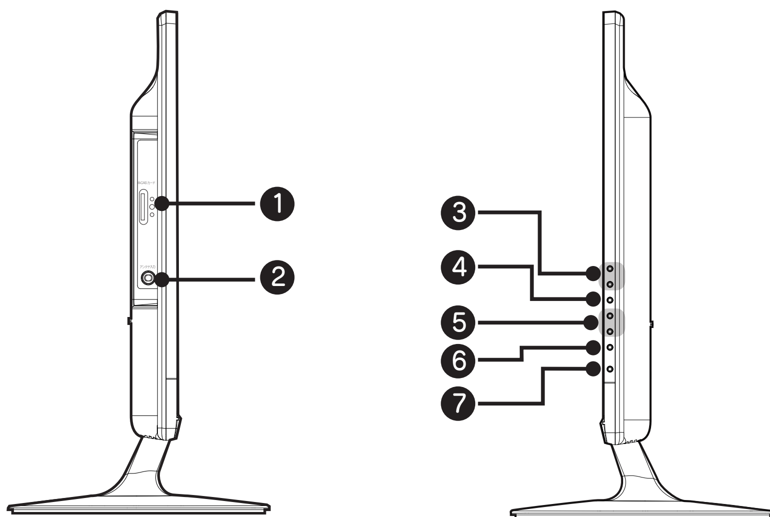
	名称		機能
❶	スピーカー		ステレオ音声を出力します。
❷	盗難防止用ホール		必要に応じて市販のセキュリティケーブルを接続します。
❸	主電源		電源のオン / オフを行います。
❹	AC 電源入力		添付の電源ケーブルを接続します。
❺	光デジタル音声出力※1		音声機器（アンプなど）の音声端子と接続します。
❻	PC 入力	PC アナログ入力	パソコンのアナログ（D-SUB）出力コネクターと接続します。
		PC- アナログ音声入力	パソコンのオーディオ出力端子と接続します。
❼	D 映像入力	D 端子入力	映像機器（DVD プレーヤーなど）の D 映像端子と接続します。
		D 端子音声入力（左右）	映像機器（DVD プレーヤーなど）のオーディオ出力端子と接続します。

	名称		機能
❽	ビデオ入力	ビデオ入力 / S ビデオ入力	映像機器（ビデオなど）のビデオ出力端子または S ビデオ端子※2 と接続します。
		ビデオ /S ビデオ音声入力（左右）	映像機器（ビデオなど）の音声出力端子と接続します。
❾	HDMI 入力		映像機器（ゲーム機、HDD レコーダーなど）の HDMI 端子と接続します。
❿	サービス用		サービス専用です。使用しないでください。
⓫	ヘッドホン		ヘッドホンやスピーカーを接続します。
⓬	音声出力（左右）		音声機器（アンプなど）の音声端子と接続します。

※ 1　地上デジタル放送のみ対応しています。
出力は AAC フォーマットのみです。AAC に対応した機器が必要です。
音響機器と接続する場合は、MPEG-2 AAC デコーダー、または AAC デコーダー内蔵アンプをご 用意ください。

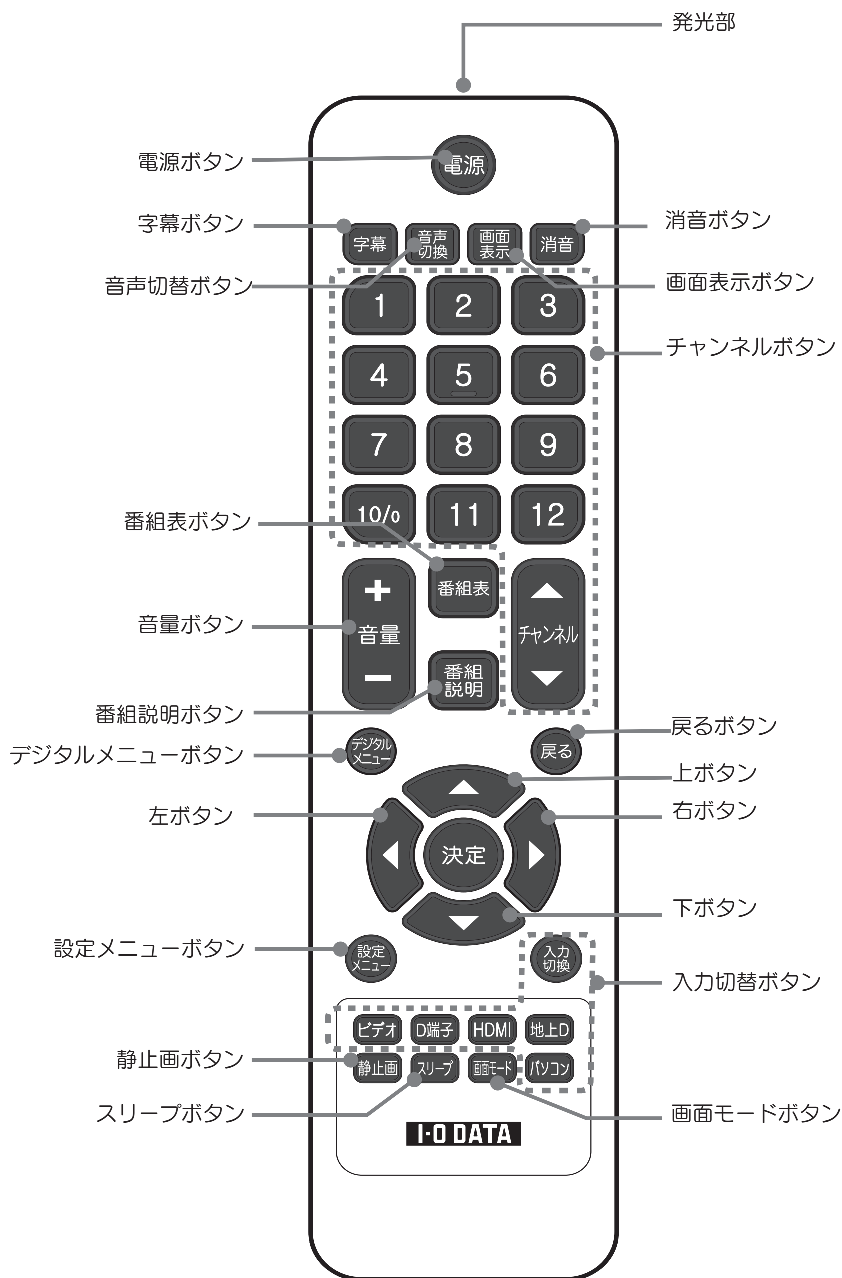
※ 2　S1/S2 出力には対応しておりません。

■本体　側面



	名称	機能
❶	miniB-CAS カード挿入口	miniB-CAS カードを挿入します。
❷	アンテナ接続	地上デジタル放送用のアンテナ接続ケーブルを接続します。
❸	音量スイッチ	音量の上げ下げを行います。
❹	設定メニュー	設定メニューを表示します。
❺	チャンネルスイッチ	チャンネル選択ができます。(テレビモード時)
❻	入力切替	入力信号を切り替えます。 D 映像→ HDMI →パソコン（PC アナログ入力）→ 地上 D → AV（ビデオ）→ SV（S ビデオ） ※ボタンを押すと画面左上に各入力信号が表示されます。 カーソルをあわせた後、約 3 秒後に画面が切り替わります。
❼	電源スイッチ	電源のオン / オフを行います。

■リモコン


発光部
電源ボタン
電源
字幕ボタン
字幕
音声切替
消音ボタン
消音
音声切替ボタン
画面表示
画面表示ボタン
チャンネルボタン
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10/0
11
12
番組表ボタン
番組表
音量ボタン
音量
チャンネル
番組説明
番組説明ボタン
戻るボタン
戻る
デジタルメニューボタン
デジタルメニュー
上ボタン
右ボタン
左ボタン
決定
下ボタン
設定メニューボタン
設定メニュー
入力切換
入力切替ボタン
ビデオ
D端子
HDMI
地上D
静止画ボタン
静止画
スリープ
画面モード
パソコン
スリープボタン
画面モードボタン
I-O DATA

名称		機能
発光部		リモコンの信号が出る部分です。(カバーはありません。)
電源ボタン		電源のオン / オフを行います。オンになると本体前面の LED ランプが青色に点灯します。
字幕ボタン		字幕放送がある場合に、字幕表示の入 / 切を行います。
音声切替ボタン		番組に複数の音声が含まれている場合、音声を切り替えます。 (例)主音声→副音声→主＋副→主音声…(2 カ国語放送受信中)の順に音声を切り替えます。
画面表示ボタン		入力情報表示を表示します。
消音ボタン		音声をミュートにします。 再度ボタンを押すと元の音量に戻ります。
チャンネルボタン		チャンネルを選択します。(地上 D 表示中)
音量ボタン		音量の上げ下げを行います。
番組表ボタン		番組表を表示します。
番組説明ボタン		視聴中の番組の説明を表示します。
デジタルメニューボタン		地上デジタル入力専用のメニューを表示します。
戻るボタン		「メニュー」で前の画面に戻ります。
上下ボタン ▲▼		「メニュー」において設定値の変更に使用します。
左右ボタン ◀▶		「メニュー」において設定値の変更に使用します。
決定ボタン		「メニュー」において選んだ項目を実行します。
設定メニューボタン		「設定メニュー」を表示します。再度ボタンを押すと「設定メニュー」を終了します。
入力切替ボタン	入力切替	D 映像→ HDMI →パソコン(PC アナログ入力)→地上 D → AV(ビデオ)→ SV(S ビデオ)→…の順に入力を切り替えます。
	ビデオ	AV(ビデオ)→ SV(S ビデオ)→ AV(ビデオ)→…の順に入力を切り替えます。
	D 端子	D 端子に入力を切り替えます。
	HDMI	HDMI に入力を切り替えます。
	地上 D	地上デジタル放送に切り替えます。
	パソコン	パソコン(PC アナログ入力)に入力を切り替えます。
静止画ボタン		表示している映像を静止します。再度ボタンを押すと解除します。
スリープボタン		オフタイマー設定を行います。 0(オフ)⇒ 15 分⇒ 30 分⇒ 45 分⇒ 60 分⇒ 0(オフ)の順にスリープ設定時間を切り替えます。
画面モードボタン		画面サイズを切り替えます。

memo

準備をする

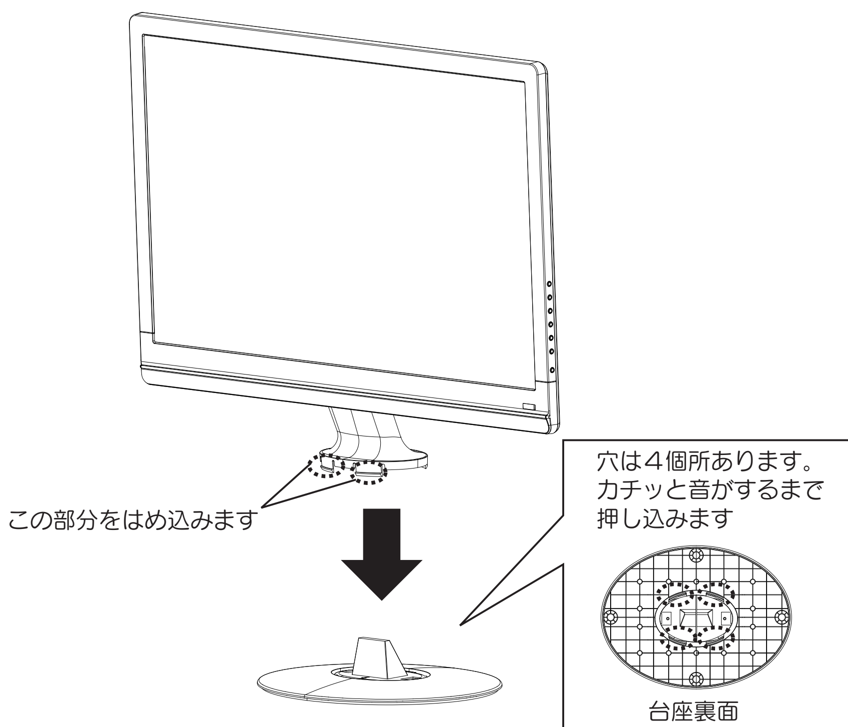
本製品を使用するための準備や接続方法について説明します。

台座を取り付ける

出荷時には、台座が取り付けられていません。
以下の手順で本体に台座を取り付けます。

■台座を取り付ける

机の上などの平らなところに台座を置いて、本体のフレームの両端を持って台座を取り付けます。



接続する

■パソコンを接続する

1 **パソコンの電源を切ります。**

2 **AC ケーブルを背面の AC コネクターに接続します。**

AC ケーブルは必ず添付のものをお使いください。

3 **本製品背面の PC アナログ（D-SUB）コネクターに、添付のアナログ接続ケーブルを接続します。**

接続ケーブルは必ず添付のものを使用し、接続ケーブルのコネクターは左右のネジできちんと締めてください。

4 **接続ケーブルのもう一方をパソコンのディスプレイ出力コネクターに接続します。**

パソコンの出力コネクター位置は、パソコンの取扱説明書でご確認ください。

5 **本製品の音声コネクターに、添付のオーディオケーブルを接続します。**

パソコンを接続した際に、本製品のスピーカーをご使用にならない場合は接続する必要はありません。

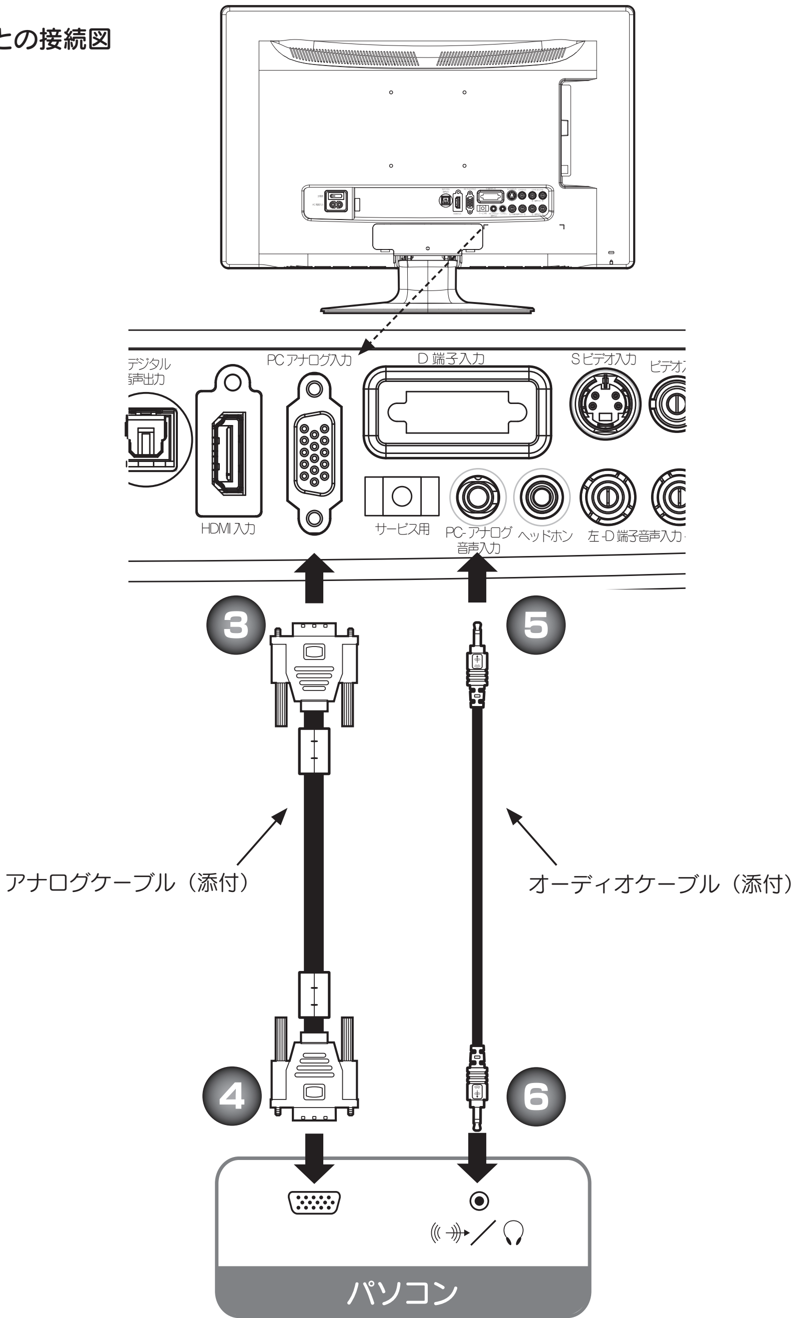
6 **オーディオケーブルのもう一方の端子をパソコンのオーディオ出力端子に接続します。**

7 **AC ケーブルをコンセントに接続します。**

8 **メイン電源をオンにします。**

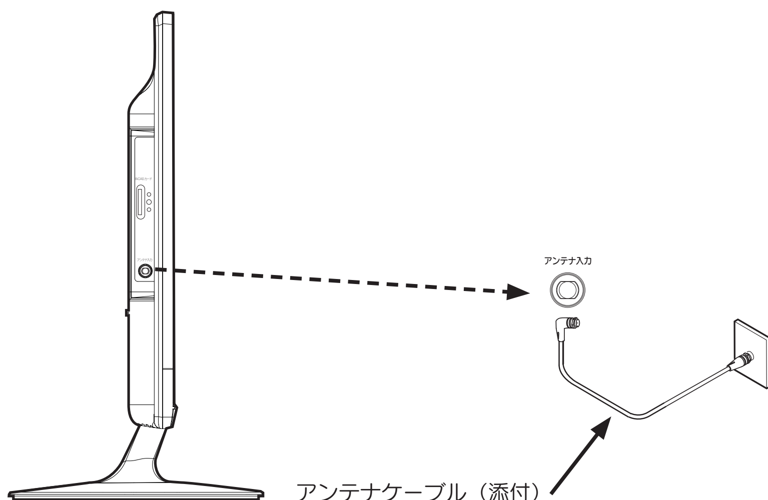
以上でパソコンへの接続は終了です。

パソコンとの接続図


PC アナログ入力
D 端子入力
S ビデオ入力
HDMI 入力
サービス用
PC- アナログ音声入力
ヘッドホン
3
5
4
6
アナログケーブル（添付）
オーディオケーブル（添付）
パソコン

■地上デジタル放送を見るための接続をする

本製品を、地上デジタルのアンテナにつなぎます。



お知らせ

ケーブルテレビにつなぐ場合

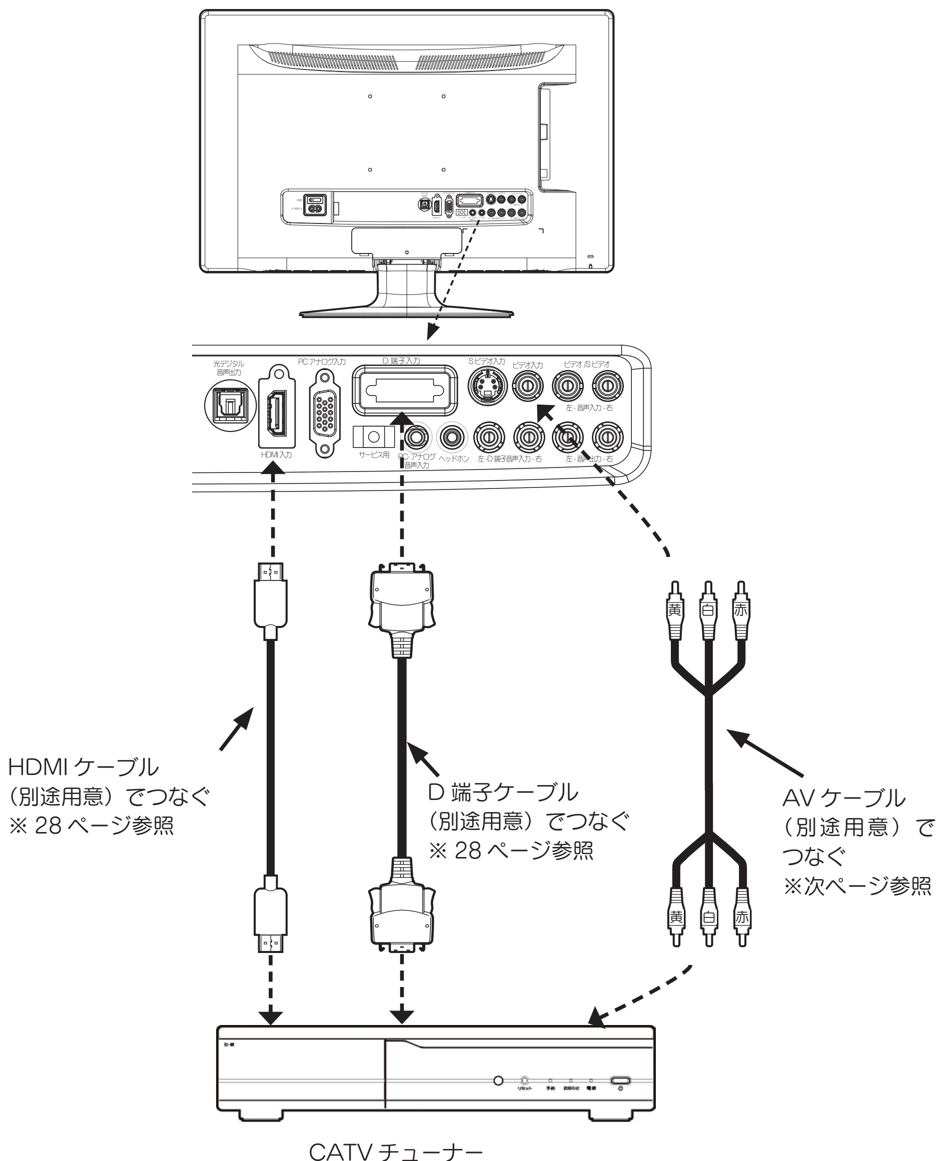
ケーブルテレビ会社から案内されている「テレビとつなぐ方法」で本製品とケーブルテレビをつないでください。
本製品は「パススルー形式」のケーブルテレビ全てに対応しています。
ケーブルテレビ専用チューナーがある場合は、次ページをご覧ください。

ご注意

- 地上デジタル放送を受信する場合は、UHF 対応のアンテナを使用します。VHFアンテナでは受信できません。現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。
- アンテナ（地デジ専用）端子にアンテナケーブルをつなぐときは、芯線を正しく挿入し、手で緩まない程度に締めつけてください。強く締めつけると、本製品が破損する場合があります。
- アンテナとつなぐ際は、本製品の AC プラグを電源コンセントから取り外してください。
- お使いのテレビアンテナで受信できない場合は、市販の地上デジタル放送用 UHF アンテナ、ブースター、混合器などを用意することをご検討ください。
- ビルの陰など受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できないことがあります。

●ケーブルテレビ専用チューナーがある場合

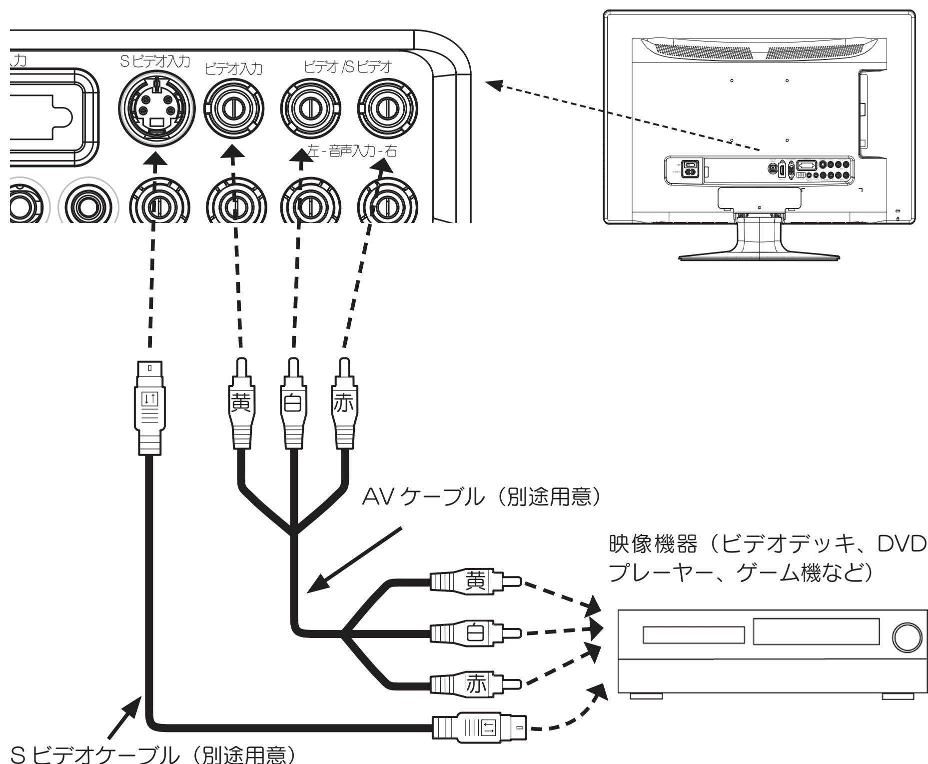
ケーブルテレビをお使いの場合は、CATV チューナーと本製品を、HDMI 端子、D 端子またはビデオ端子で接続してください。
接続方法は、【他の機器を接続する】（次ページ）を参照。



■他の機器を接続をする

本製品にビデオデッキ、DVD プレーヤーやゲーム機などの映像機器を取り付けて、DVD やゲームを楽しむことができます。

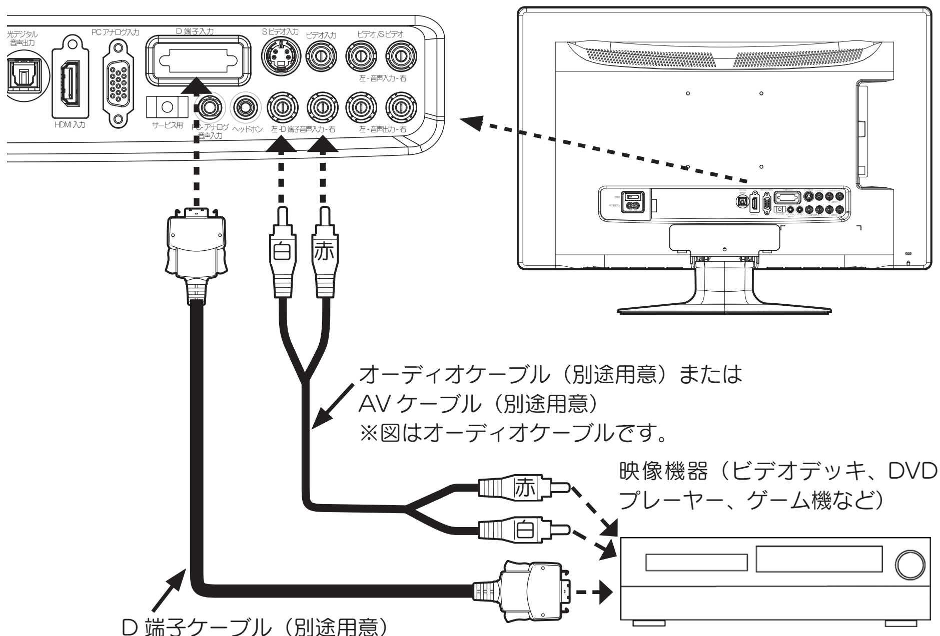
● AV ケーブルまたは S ビデオケーブルで接続する場合



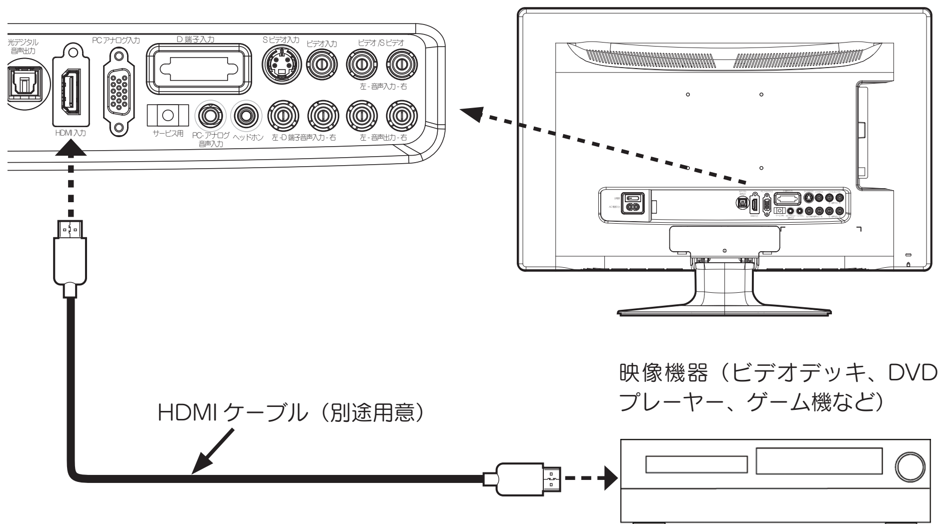
お知らせ

- ●他の機器との接続方法については、ご使用になる機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ●映像機器に S ビデオ出力コネクターがある場合は、本製品の S ビデオ入力端子との接続をおすすめします。
  S ビデオ信号は輝度と彩度の信号が分かれているため、ビデオ信号よりも歪みが少なく、鮮明な画像が得られます。
- ●ビデオデッキにて劣化しているビデオテープを再生した場合、鮮明な映像が得られない場合があります。
- ● S1/S2 出力には対応しておりません。

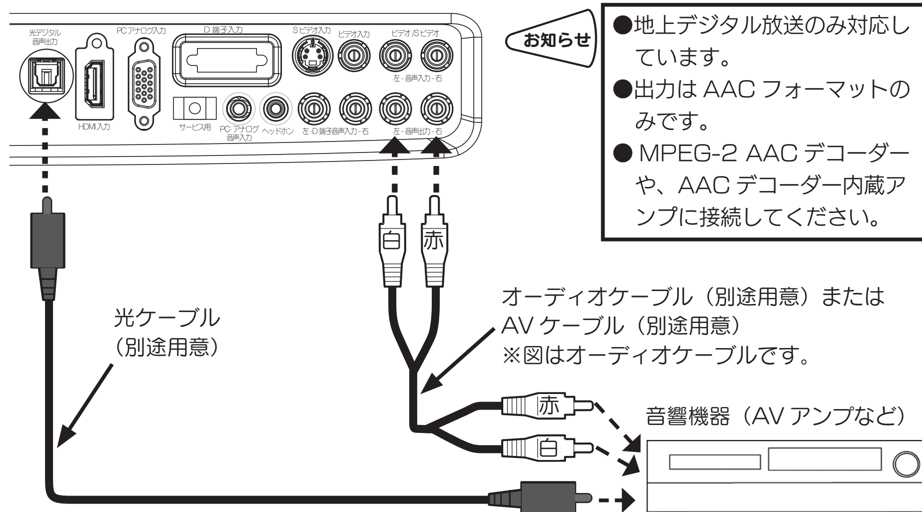
● D 端子ケーブルで接続する場合



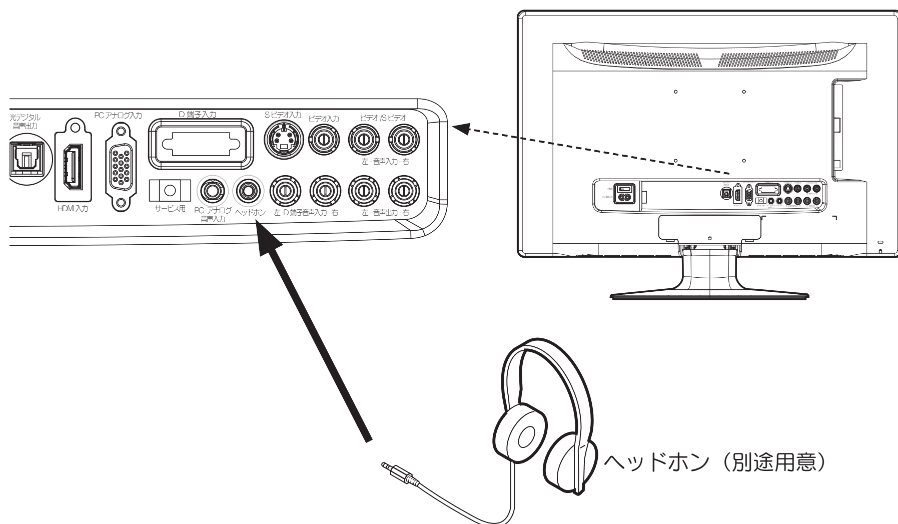
● HDMI ケーブルで接続する場合



●音響機器と接続する場合（地上デジタル放送を高音質で聴きたいとき）



●ヘッドホンを接続する





注意

● ヘッドホンを耳に付けたまま接続しないでください。
音量によっては耳をいためる原因となります。
● ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。大音量で長時間続けて聞くと聴力に悪影響を与える原因となります。

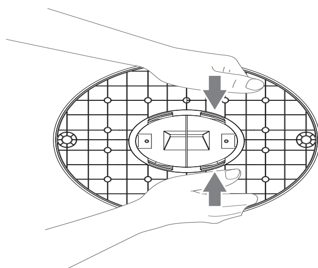
■アームを取り付ける

台座金具を取り外して、VESA 規格に準拠したアームなどの固定器具を取り付けることができます。アームや、アーム取り付け用のネジは、あらかじめご用意ください。

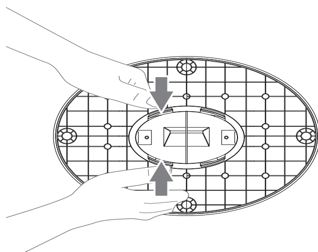

注意

- 作業中は、液晶ディスプレイを床などに落としたり、パネルを傷つけたりしないよう十分ご注意ください。
- 作業の際は、下にやわらかい布などを敷いて、パネルに傷がつかないようにしてください。
- 電源を切り、すべてのケーブルを外した状態で作業を行ってください。
- ご用意いただいた固定器具の取扱説明書もご覧ください。

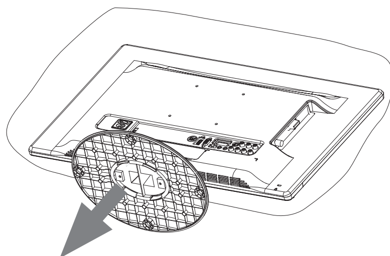
1 両手で台座をはさみ、親指で台座の底のつまみ 2 か所 (右図の矢印) を押し込みます。



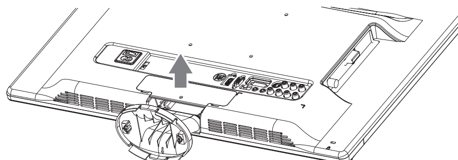
2 次にもう 2 か所 (右図の矢印) を押し込みます。



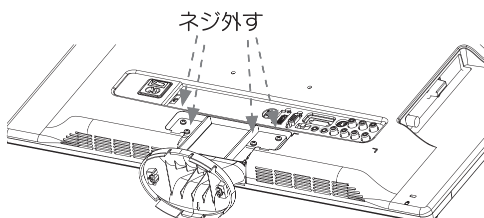
3 台座を引っ張り、台座を外します。



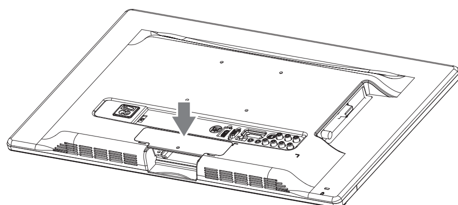
4 カバーを外します。



5 カバーを外した所にあるネジ 4 か所を外し、台座軸を外します。

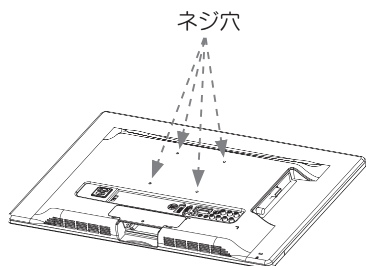


6 カバーを取り付けます。



7 用意した固定器具を取り付けます。

右図の 4 か所のネジ穴を利用して、ご用意いただいた VESA アームなどの固定器具を取り付けます。



- 固定用のネジは、「M4 × 10」のものをご用意ください。
- VESA アームなどの固定金具は製品の質量に耐えられる 100mm ピッチのものをご用意ください。

以上でアームの取り付けは終了です。

ご注意

外したネジ、台座金具は大切に保管してください。

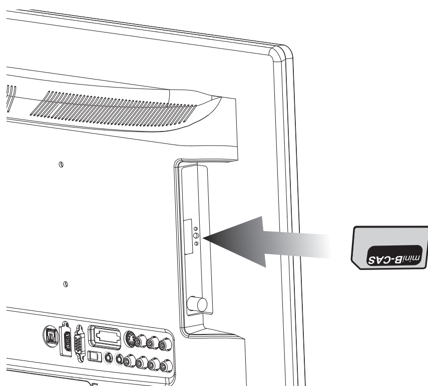
miniB-CAS カードを挿入する

地上デジタル放送を視聴するための miniB-CAS カードを挿入します。
挿入しない場合、地上デジタル放送は視聴できません。
miniB-CAS カードは放送局からのメッセージ管理等のほか、著作権保護のためのコピー制御にも利用されています。

- miniB-CAS カードのパッケージ開封前に、必ず miniB-CAS カード使用許諾契約約款をお読みください。
- カードには IC（集積回路）が搭載されています。ていねいに扱ってください。
- miniB-CAS カードについてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。
  miniB-CAS カードを紛失した場合も下記にお問い合わせください。
  （株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ・カスタマーセンター
  TEL 0570－000－250（IP 電話からは、045－680－2868）

1 本体側面のカード挿入口に miniB-CAS カード を挿入します。

miniB-CAS カードの絵柄面を本体の背面側に向けて奥までゆっくりと押し込んでください。
miniB-CAS カードを抜くときは、再度 miniB-CAS カードを押すと、出てきます。

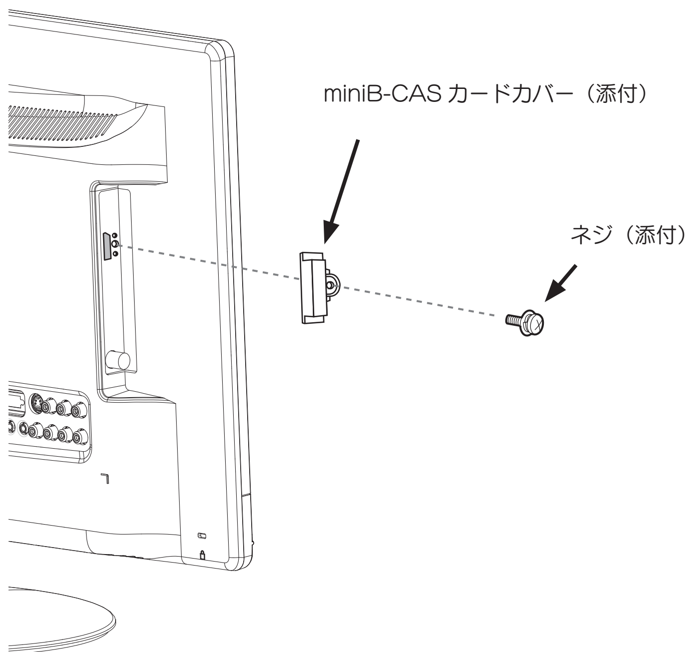


ご注意

- miniB-CAS カードを抜く必要があるときは、AC プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくりと miniB-CAS カードを抜いてください。
- miniB-CAS カード挿入口に miniB-CAS カード以外の物を挿入しないでください。故障や破損の原因となることがあります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うと miniB-CAS カードは機能しません。

❷ 下図のようにネジ穴に合わせて、miniB-CAS カード固定用金具を取り付けてネジ止めしてください。

金具をいったん取り付けると miniB-CAS カードを容易に取り外すことができなくなりますので、miniB-CAS カードが正しく動作していることを確認してから取り付けてください。



リモコンの操作について

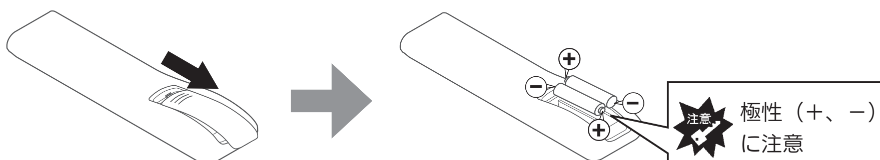
■電池の入れ方

ご購入時は、添付のリモコン用乾電池を入れて動作を確認してください。

1 電池カバーを取り外します。

裏面電池カバーを矢印の方向に開けます。

2 単 4 乾電池を 2 個入れて、電池カバーを閉じます。

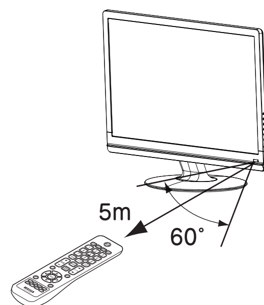




●添付のリモコン用乾電池は動作確認用のものです。
ご使用の際は新しい乾電池（単 4）2 個を別途ご用意ください。
●以下のことにご注意ください。
・極性（+，−）を逆にしない
・指定された乾電池（単 4 乾電池）以外を使用しない
・交換の際は、必ず電池を 2 本とも交換する
リモコンの動作不良および故障の原因となります。また、【安全にお使いいただくために】の注意事項もご覧ください。

■リモコンの操作

リモコンを操作する場合は、右図のようにリモコン受光部に向けて操作します。操作できる範囲は、受光部から約 5m、左右に約 30° 以内です。



ご注意

・リモコン受光部とリモコンの間に、障害物を置かないでください。
・リモコン受光部に強い光を当てないでください。強い光が当たっているとリモコンが動作しないことがあります。

初期設定をする

デジタル放送を視聴するための設定をします。

チャンネル設定をする

本製品で地上デジタル放送を見る場合は、まずチャンネル設定を行う必要があります。

お知らせ
「選択します。」と表記している箇所は、リモコンの上下左右ボタンでカーソルを合わせ、[決定] ボタンを押してください。

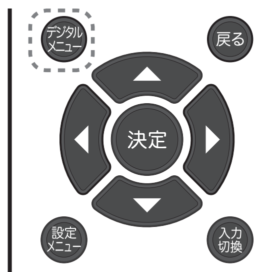
■チャンネルの設定方法

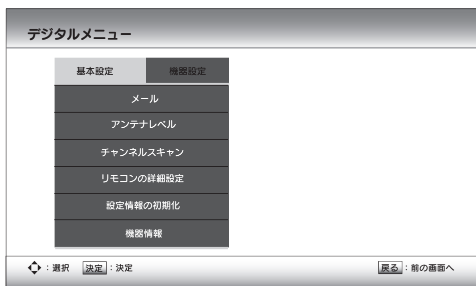
1 本製品の電源を入れます。

2 リモコンの放送切換で [地上 D] ボタンを押します。

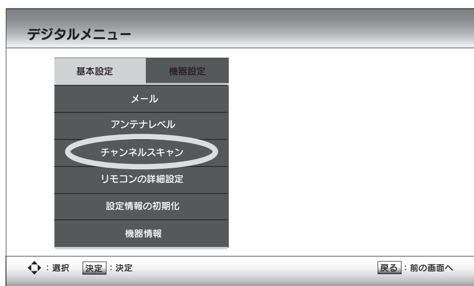


3 [デジタルメニュー] ボタンを押して、メニューを表示します。

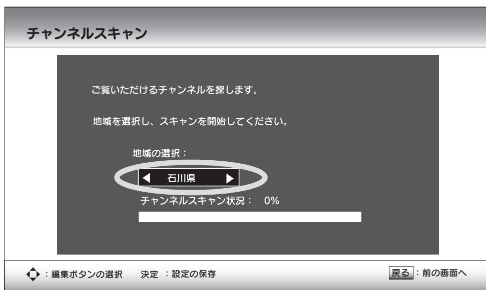




4 「チャンネルスキャン」を選択します。



5 左右ボタン（◁▷）で地域を選択し、決定ボタンを押します。
チャンネルスキャンを開始します。



5 スキャン結果を確認し、決定ボタンを押して画面を閉じてください。
これでチャンネル設定は終了です。



memo

地上デジタル放送を見る

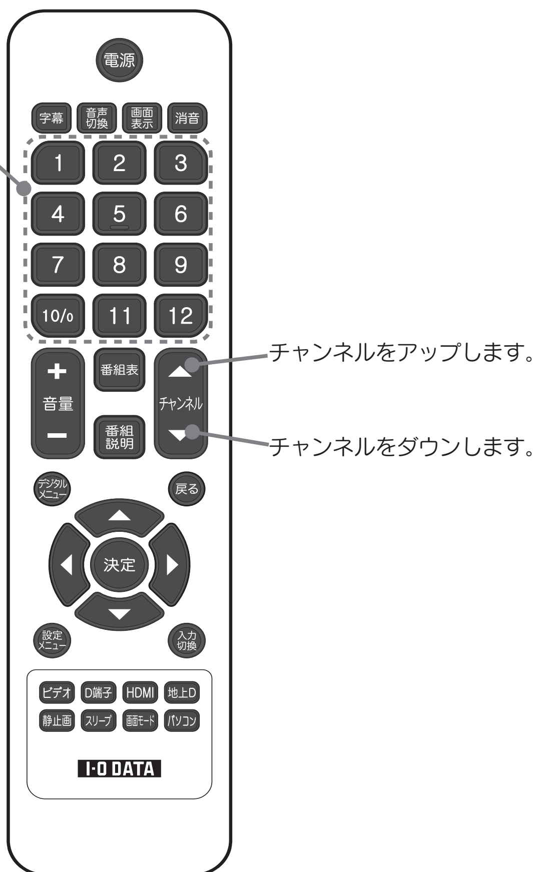
テレビを視聴するための操作、番組表・番組情報の見方について説明します。

チャンネルを切り替える

テレビのチャンネルの切り替えは、本体もしくはリモコンで行います。

■リモコンで切り替える場合

ボタンに割り当てられたチャンネルに切り替えます。



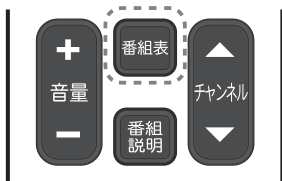
■本体側で切り替える場合

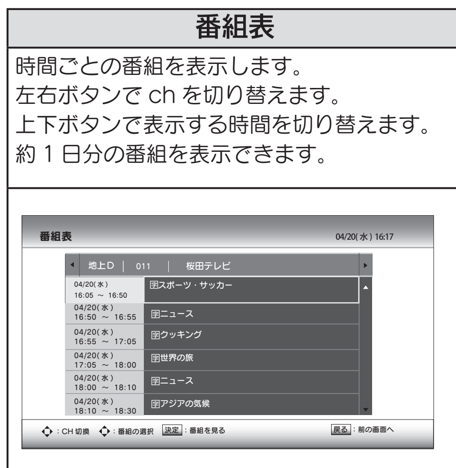
本体側のチャンネルスイッチを押します。押すごとにチャンネルが切り換わります。

電子番組表 (EPG) を見る

番組表、番組説明を見ることができます。

1 ［番組表］ボタンを押し、電子番組表 (EPG) を表示します。



番組表
時間ごとの番組を表示します。 左右ボタンで ch を切り替えます。 上下ボタンで表示する時間を切り替えます。 約 1 日分の番組を表示できます。


2 番組を選びます。

番組を選ぶ	① カーソルで番組を選びます。 ② ［決定］ボタンを押します。 ⇒ 放映中なら、その番組を視聴できます。

番組説明を見る

■視聴している番組の情報を見る

1 番組を視聴します。

2 ［番組説明］ボタンを押します。

⇒ 番組情報が表示されます。
番組情報を閉じたいときは、もう一度［番組説明］ボタンを押します。



■番組表で番組の情報を見る

1 番組表を開き、番組を選びます。

2 ［番組説明］ボタンを押します。

⇒ 番組情報が表示されます。
番組情報を閉じたいときは、もう一度［番組説明］ボタンを押します。
番組情報を閉じると、番組表に戻ります。



使いこなす

本製品の画面の操作などについて説明します。

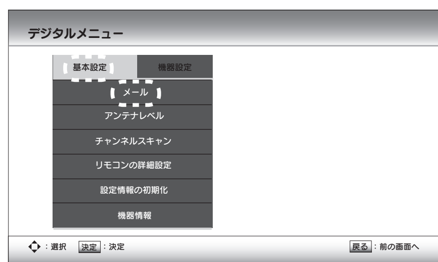
お知らせを見る

メール、機器情報を見ることができます。
メールとは、ファームウェアの更新などがあるときに受信者に送られるお知らせです。

■メール

1 [デジタルメニュー] ボタンを押し、メニューを表示します。

2 [基本設定] → [メール] を選びます。



3 メールの一覧が表示されます。



■機器情報

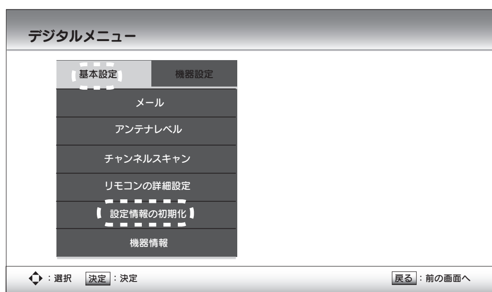
miniB-CAS カードの情報が表示されます。
本製品のファームウェアバージョンが表示されます。

設定リセットについて

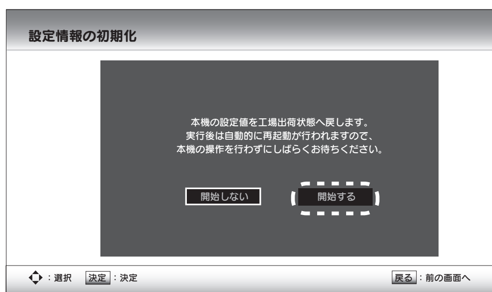
設定内容、メール情報を初期化します。

1 [デジタルメニュー] ボタンを押し、メニューを表示します。

2 [基本設定] → [設定情報の初期化] を選びます。



3 [開始する] を選びます。



使いこなす

ファームウェアの更新

本製品は、地上デジタル放送を利用して、ファームウェア（内部のソフトウェア）のダウンロードと更新を自動で行います。
これにより常にファームウェアを最新の状態にします。

本製品を更新できる状態

ダウンロード / 更新には、約 10 ～ 20 分かかります。
ダウンロード / 更新が行われるには、以下の条件があります。

・アンテナが正しくつなげられていること
・miniB-CAS カードがセットされていること
・スタンバイ中であること、テレビ視聴中でないこと
・NHK 総合、NHK 教育が受信可能なこと

ご注意

●ファームウェアのダウンロード / 更新中は、本製品の電源をオフにしないでください。ダウンロード / 更新が中断され、製品が故障する原因となります。
●ファームウェアのダウンロード / 更新中は、リモコン操作を行わないでください。
●テレビ視聴中は、ダウンロード / 更新は行いません。

データ放送について

本製品は、データ放送（双方向サービス）に対応しておりません。

操作について

本製品の画面の操作などについて説明します。

画面操作について

画面表示について説明します。

■画面表示

[画面表示] ボタンを押すと、画面上部に、[番組タイトル＋視聴しているチャンネル情報] を表示します。表示はしばらくすると自動的に消えます。



字幕・音声切換・スリープ

字幕、音声切換、スリープについて説明します。

■字幕

[字幕] ボタンを押すと、字幕表示の入 / 切を行います。
（字幕放送がない番組では、字幕表示はされません。）



■音声切換

複数の音声のある番組で、[音声切換] ボタンを押すと音声が切り換わります。たとえば、主音声→副音声→主 / 副→主音声…（2 カ国語放送受信中）の順に音声を切り替えます。



■スリープ（オフタイマー）

[スリープ] ボタンを押すとオフタイマー設定を行います。
0(オフ) ⇒ 15 分⇒ 30 分⇒ 45 分⇒ 60 分⇒ 0(オフ) の順にオフタイマー設定時間を切り替えます。



アスペクト比について

アスペクト比とは､映像やパソコン画面の縦と横の長さ（ピクセル数）の比のことです。
本製品の画面表示エリアは、解像度 1920x1080 で、アスペクト比は 16：9 です。
映像によってアスペクト比が異なりますので、それに応じて本製品を設定してください。
※本製品に接続した機器の入力ソース（映像）のアスペクト比については、各機器の取扱説明書をご確認ください。

■ HDMI、D 端子、ビデオ（AV）/S ビデオ（SV）の場合

※映像が 4:3 のときのみ選択できます

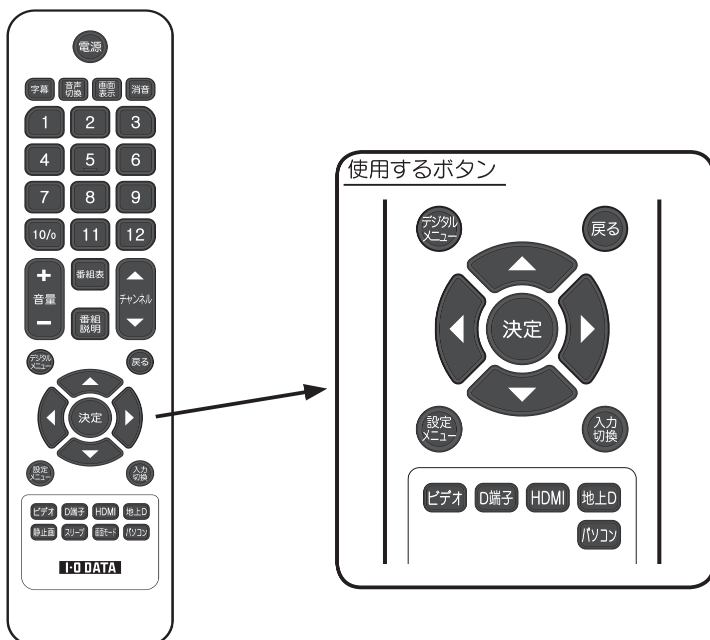
アスペクト比（画面モード）	表示例
フル 入力信号を本製品の画面表示エリア（1920x1080）に拡大表示します。	
ズーム 1 レターボックス収録されたDVDの画像部分を1920x1080に拡大表示します。	
ズーム 2 字幕入りのレターボックス映像が字幕を含めて画面内に納まるように拡大表示します。	
4：3 アスペクト比を維持したまま、入力信号を拡大表示します。	
パノラマ 4:3 の映像が自然に見えるように左右周辺を拡大して表示します。	

設定 / 調整をする

本製品の画面の設定・調整方法について説明します。

設定 / 調整方法（基本操作）

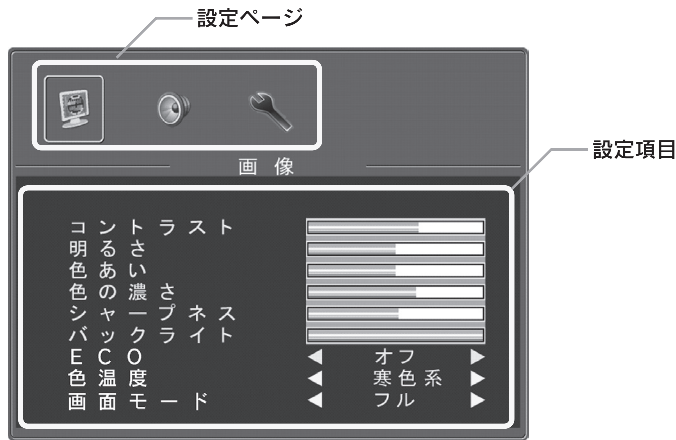
画面に表示される「設定 / 調整メニュー」（以下、「メニュー」と呼びます。）でさまざまな調整や設定ができます。操作はリモコンで行います。



ボタン名称	
デジタルメニュー	デジタルメニューを表示、終了します。
戻る	一つ上の階層に戻ります。
上下左右（▲▼◀▶）	メニュー項目の選択に使います。
決定	メニュー項目を選択します。
設定メニュー	設定メニューを表示、終了します。
入力切替	ビデオ（AV）→Ｓビデオ（SV）→Ｄ端子→ HDMI →地上Ｄ→パソコン（PC アナログ入力）→ビデオ（AV）→…の順に入力が切り替わります。
ビデオ	ビデオ（AV）→Ｓビデオ（SV）→ビデオ（AV）→…の順に入力が切り替わります。
D 端子	D 端子に入力が切り替わります。
HDMI	HDMI に入力が切り替わります。
地上 D	地上デジタル放送に切り替わります。
パソコン	PC アナログに入力が切り替わります。

設定 / 調整方法

■ 設定画面の構成要素と操作



構成要素	説明
設定ページ	選ぶことで、それぞれの設定ページを開きます。
設定項目	それぞれ選ぶことで、値を設定できます。

□操作方法

① リモコンの左右ボタンで設定ページを選び、決定ボタンを押します。
② リモコンの上下ボタンで設定項目を選びます。
③ リモコンの左右ボタンで設定項目の値を選びます。
④ リモコンの戻るボタンで設定画面を閉じます。

■ 設定項目の説明

設定ページ	設定項目	説明	
画像※1	コントラスト	画面のコントラストを調整します。	
	明るさ	画面の明るさを調整します。	
	色合い	画面の色合いを調整します。	
	色の濃さ	画面の色の濃さを調整します。	
	シャープネス	映像の輪郭を調整します。	
	バックライト	バックライトの輝度を調節します。	
	ECO	輝度の上限値を下げることにより、消費電力をおさえます。	
	色温度	暖色	昼光色のように自然な光を表現します。
		標準	暖色と寒色の中間の設定です。
		寒色	発光は鮮やかですが、やや青白く感じられます。
	画面モード	現在の映像が 16:9 ではないとき、[フル][ズーム 1][ズーム 2][4:3][パノラマ] を選択します。 リモコンの [画面モード] ボタンでも操作できます。 【アスペクト比について】（50 ページ）を参照	
PC※2	ECO	輝度の上限値を下げることにより、消費電力をおさえます。	
	バックライト	バックライトの輝度を調節します。	
	コントラスト	画面のコントラストを調整します。	
	明るさ	画面の明るさを調整します。	
	色温度	暖色	光色のように自然な光を表現します。
		標準	暖色と寒色の中間の設定です。
		寒色	発光は鮮やかですが、やや青白く感じられます。
		自設定	手動で赤・緑・青の強さを設定します。
	画面自動調整	自動で画面を調整します。	
	水平位置	ディスプレイ画面の水平位置を調整します。	
	垂直位置	ディスプレイ画面の垂直位置を調整します。	
	水平サイズ	ディスプレイ画面の水平幅を調整します。	
	微調整	画面ノイズを軽減し、鮮明度を調整します。	

※ 1　入力が PC アナログ入力（パソコン）以外で表示されます。
※ 2　入力が PC アナログ入力（パソコン）、または HDMI で PC 入力信号と判断されたときにに表示されます。

設定ページ	設定項目	説明	
音声	音質モード	スタンダード	標準の設定です。
		シネマ	映画を鑑賞するときに設定します。
		音楽	音楽を鑑賞するときに設定します。
		ユーザー	お好みの設定にできます。
	低音※1	低音域を調整します。	
	高音※1	高音域を調整します。	
	バランス	音声の左右バランスを調整します。	
	SRS※1,2	SRS を ON/OFF します。	
設定画面	水平位置	ディスプレイ画面の水平位置を調整します。	
	垂直位置	ディスプレイ画面の垂直位置を調整します。	
	表示時間	メニューの表示時間を 10,20,30,60 秒 , オフから選択します。	
	言語	言語を英語、日本語から選択します。	
	オーバースキャン※3	ON にすると、映像を拡大して表示します。 OFF にすると、画面いっぱいに表示します。※4 ON　OFF	
	リセット	設定値を工場出荷時状態に戻します。 デジタル放送の設定内容はリセットされません。	

※ 1 「音質モード」を「ユーザー」にしているときに設定できます。

※ 2 srs TruSurround XT　TruSurround XT®は、2 つのスピーカーだけで、豊かな低音、明瞭な台詞と共に、臨場感あふれるサラウンドサウンド体験を創出します。

※ 3 入力信号が HDMI のときに設定できます。
また入力信号が HDMI でも PC 信号入力と判断されたときは設定できません。
入力信号が D 端子、AV（ビデオ）、SV（S ビデオ）のときは常に「オーバースキャン」が「ON」の状態で表示されます。

※ 4 HDMI で「1080p」の信号が入力されているときに「オーバースキャン」を「OFF」にすると、信号を PC からの入力と判断し、「色合い」「色の濃さ」「シャープネス」が設定できなくなります。

■ デジタルメニュー項目

設定ページ	設定項目	説明
基本設定	メール	メールを見ることができます。（44 ページ）
	アンテナレベル	アンテナの受信感度を確認できます。（66 ページ）
	チャンネルスキャン	現在の信号から放送局を検出し、チャンネルを設定をします。
	リモコン情報の詳細設定	リモコンの数字ボタンに割りあてるチャンネルを設定します。
	設定情報の初期化	本製品の設定項目の初期化やメールの削除を行います。（45 ページ）
	機器情報	miniB-CAS カードの情報が表示されます。
機器設定	字幕の設定	字幕言語を設定できます。
	文字スーパーの設定	文字スーパーのオン / オフを設定できます。

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

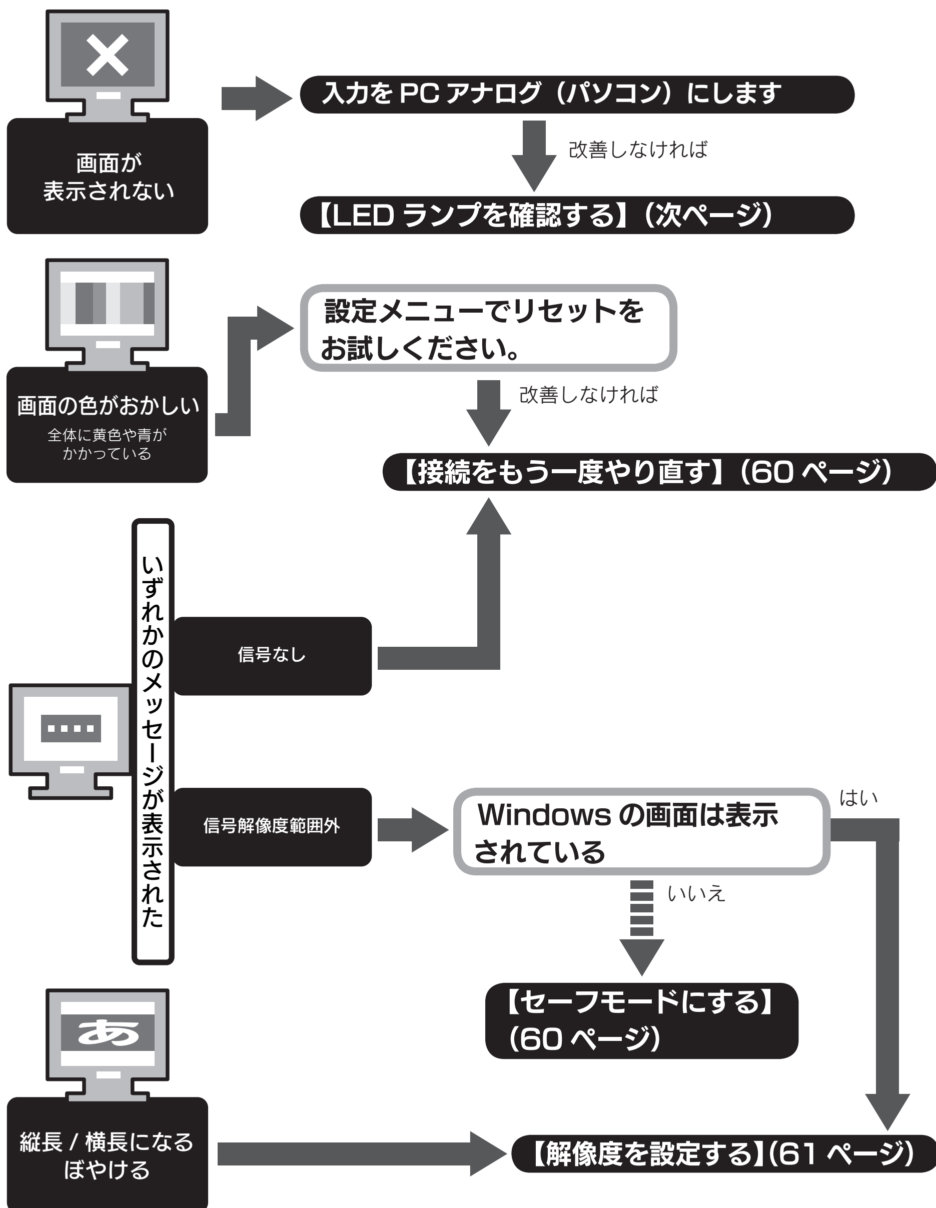
弊社ホームページをご覧ください

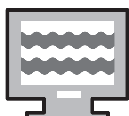
サポート Web ページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらもご覧ください。

http://www.iodata.jp/support/

チャートで対処法をチェック

■ パソコンとつないだ場合（デジタル放送については、62 ページ）

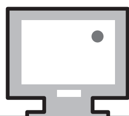




画面が揺れる、にじむ、ちらつく



PC アナログ入力（パソコン）の映像設定画面にある「PC」-「画面自動調整」をお試しください。



ドット抜けがある
赤や緑などの動かない点がある



液晶パネルが 0.0005% 未満の画素欠けや輝点を持つことによるもので故障ではありません。修理交換対象になりませんので、ご了承ください。

LEDランプを確認する

製品背面の主電源をONにします



消灯

オレンジ

青

故障です。
修理センターに修理をご依頼ください。

[電源]を押す

【接続をもう一度やり直す】(次ページ)

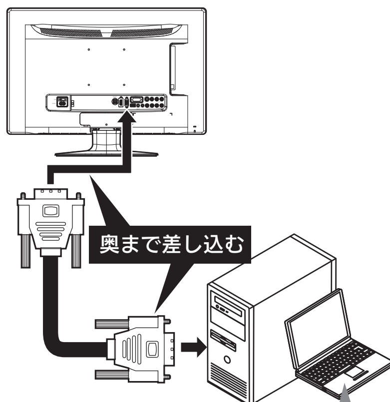
奥まで差し込む

[電源]を押す

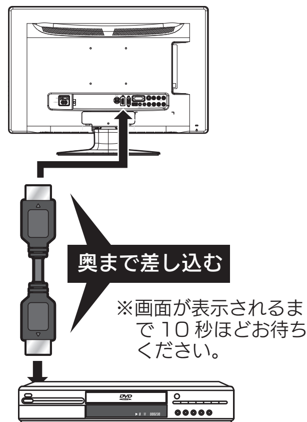
LEDランプが消灯のままなら、修理をご依頼ください。

接続をもう一度やり直す

パソコンとの接続



HDMI での接続



ノートパソコンの設定が正しくない

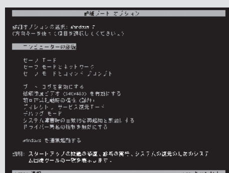
ノートパソコンの取扱説明書を見るか、パソコンメーカーに問い合わせて、「外部モニターへ出力する設定」「出力切換設定」をご確認ください。

つないだパソコン/映像機器を再起動/電源を入れ直しても改善されなければ、修理をご依頼ください。

セーフモードにする

① パソコンの電源を切ります。

② パソコンの電源を入れ、下のような画面が表示されるまで[F8]キーを何度か押します。



③ 映像が表示されるように、Windowsを起動します。

Windows 7/Vista

[低解像度ビデオ (640×480)を有効にする]を選びます。

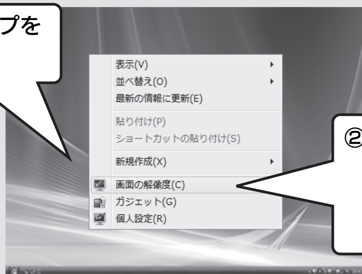
Windows XP/2000

[VGA モードを有効にする]を選びます。

④ 次に解像度を設定します。【解像度を設定する】(次ページ)をご覧ください。

解像度を設定する

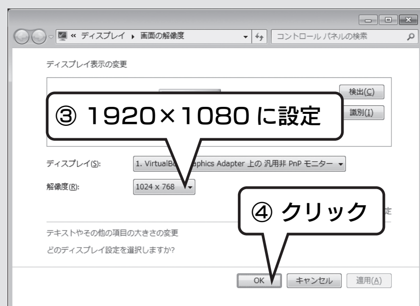
① デスクトップを右クリック



②［画面の解像度］をクリック
Vistaでは［個人設定］、XPでは［プロパティ］をクリック。

（Windows 7 の画面例）

Windows 7

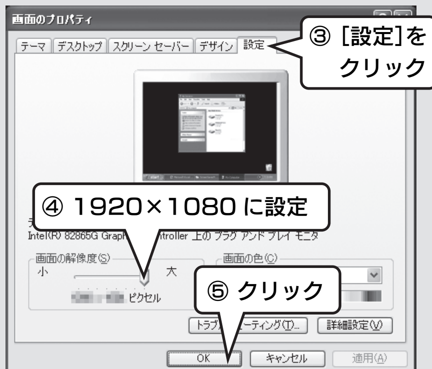


③ 1920×1080 に設定

④ クリック

⑤ 再起動する

Windows Vista / XP



③［設定］をクリック

④ 1920×1080 に設定

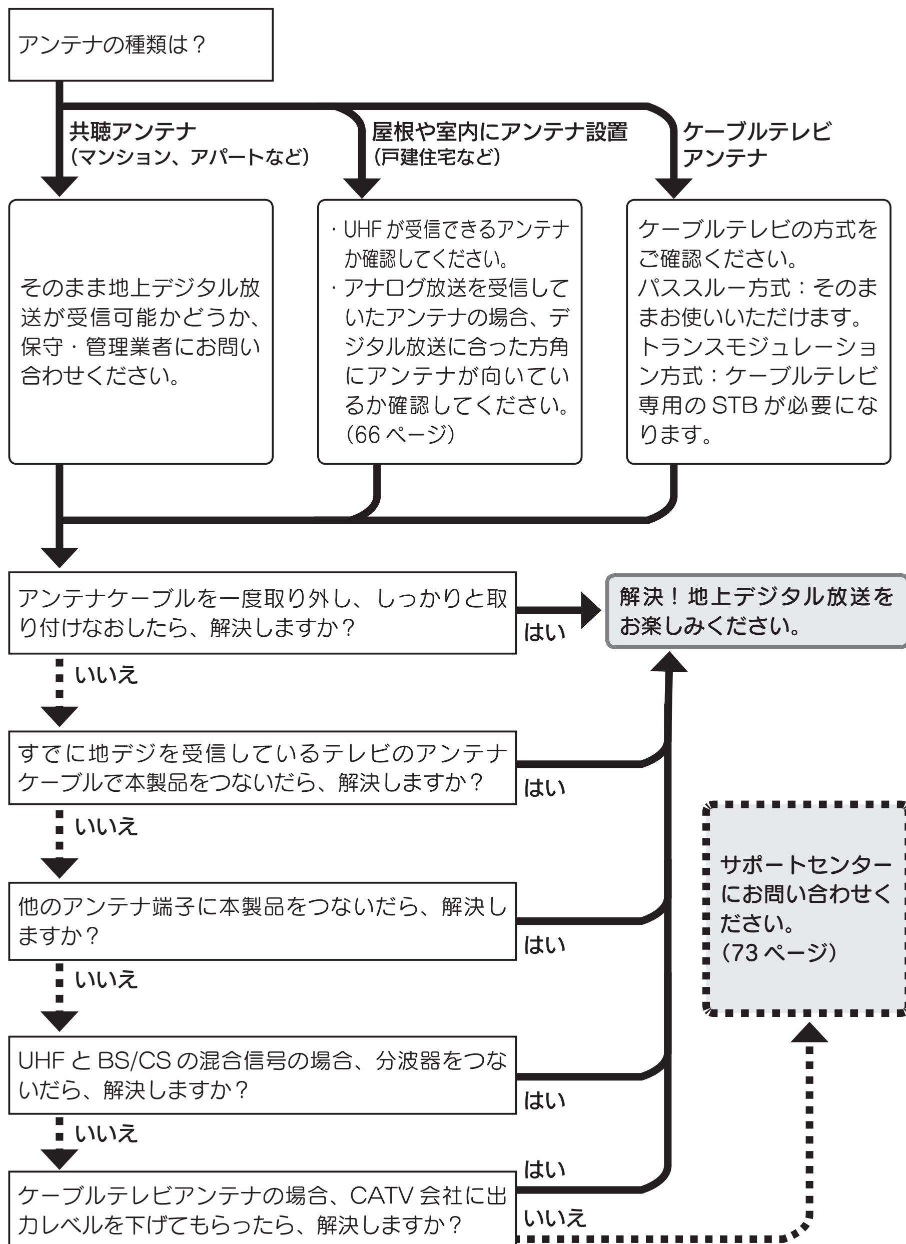
⑤ クリック

（Windows XP の画面例）

⑥ 再起動する

1920×1080を選べない	パソコンのグラフィックが本製品の最適な解像度に対応していません。 対応する方法については、パソコンやグラフィックボードのメーカーにお問い合わせください。

■ 地上デジタル放送が見られない場合



Q＆Aで対処法をチェック！

液晶ディスプレイのスピーカーから音がでない

原因１	液晶ディスプレイとパソコンが正しくオーディオケーブルで接続されていない。
対処	正しく接続されていることをご確認ください。（24 ページ参照）

原因２	音量が小さい。
対処	本体側面またはリモコンで音量を上げてください。(18,19 ページ参照)

原因３	本体のヘッドホン端子にヘッドホンやスピーカーを接続している。
対処	ヘッドホンやスピーカーを取り外してください。（14 ページ参照）

原因４	パソコン側の音声出力がミュートになっている。
対処	パソコン側の音声出力をご確認ください。

原因５	本体側の設定が消音になっている。
対処	リモコンで消音を解除してください。（18,19 ページ参照）

画面が表示されない
または、画面の表示状態が異常である

対処	58 ページの【チャート】にしたがってチェックしてください。

リモコンが反応しない

原因１	リモコンに電池が入っていない。
対処	電池が入っていることをご確認ください。（34 ページ参照）

原因２	電池が消耗している。
対処	新しい電池と交換してください。（34 ページ参照）

原因３	リモコンを本製品の赤外線受光部に向けていない、もしくは赤外線受光部から 5 メートル以上離れている。
対処	リモコンを本製品の赤外線受光部に向け、5 メートル以内で使用してください。（34 ページ参照）

原因４	メイン電源が入っていない。
対処	本製品のメイン電源スイッチをオンにしてください。 また､AC ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

リモコンの反応が遅い

原因	デジタル放送受信時の立ち上げ時間は約 12 秒で、チャンネル切り替え時間は約 2 秒となっており、多少時間がかかります。
対処	故障ではありません。

本製品で受信しているテレビの映りが悪い

原因１	アンテナが正しい向きになっていない。
対処	アンテナの向きを調整してください。 アンテナ信号レベルが 60 以上であることを確認してください。 【アンテナの調整をする】（66 ページ）を参照

原因２	チャンネルが正しく設定されていない。
対処	【チャンネル設定をする】（36 ページ）を参照

本製品で受信しているテレビが映らない

原因１	アンテナ端子がきちんと接続されていない。
対処	アンテナ端子の接続をご確認ください。（25 ページ参照）

原因２	チャンネルの設定がされていない。
対処	チャンネル設定をご確認ください。（36 ページ参照）

原因３	本製品の電源がオフになっている。
対処	本製品の電源をご確認ください。（13 ページ参照）

原因４	miniB-CAS カードが入っていない。
対処	miniB-CAS カードを正しく入れてください。

原因５	受信している信号が弱い。
対処	ブースターなどで信号を増幅すると改善される場合があります。

チャンネル切り替えができない

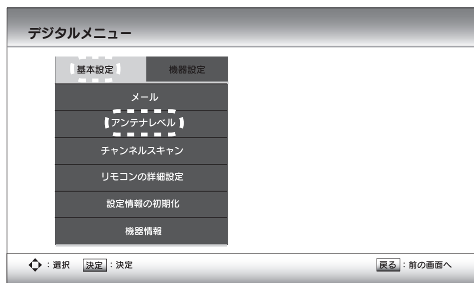
原因	受信状態がよくない。
対処	本製品の電源を切り再度電源を入れてください。

アンテナの調整をする

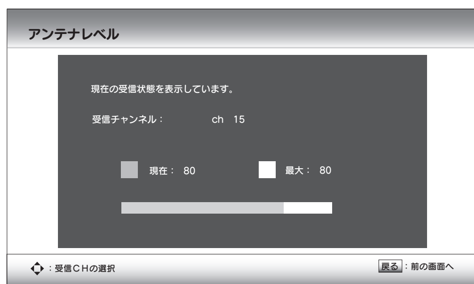
受信状況が良くなるようにアンテナの向きを調整します。
アンテナの調整は、販売店や工事業者へご相談ください。

1 デジタルメニューボタンを押し、メニューを表示します。

2 [基本設定] → [アンテナレベル] を選択します。



3 アンテナレベルが一番高くなるようにアンテナの向きを調整します。
60 以上になるように調整してください。



お知らせ

● 60 以上にならない場合、アンテナ環境をチェックしてください。
62 ページの【■地上デジタル放送が見られない場合】をご覧ください。

以上でアンテナの調整は終了です。

エラー表示一覧

デジタル放送視聴時、画面に表示されるエラーについて以下に説明します。

エラー表示	原因	対処
地上デジタル放送を視聴するためにはメニューよりチャンネルスキャンを行ってください。	地上デジタル放送を視聴するための設定が行われていない。	アンテナ線を正しくつないでいることを確認後、デジタルメニューより［基本設定］－［チャンネルスキャン］を行ってください。
信号が受信できません。	アンテナ線が正しく接続されていない。または、チャンネル設定が正しく設定されていない。	アンテナ線が正しく接続されているかを確認してください。 それでも解決しない場合は、デジタルメニューより［基本設定］－［チャンネルスキャン］を行ってください。
現在放送されていません。 または放送休止中です。	放送が一時中断されている。 または、放送されていない可能性がある。	新聞のテレビ欄などで放送時間をご確認ください。 雨、雷、雪などの気象条件がないかご確認ください。
B-CAS カードが未挿入です。	miniB-CAS カードが挿入されていない。	miniB-CAS カードをすでにセットしている場合は、一度抜きます。向きや表裏を確認して、奥までしっかりと添付の miniB-CAS カードを差し込んでください。 それでも解決しない場合は、72 ページの【お問い合わせ】をご覧になり『miniB-CAS カードについて』の問い合わせ先にご相談ください。
このカードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	miniB-CAS カードが正しく挿入されていない。 または、miniB-CAS カードが破損した可能性がある。	
B-CAS カードを交換してください。		
現在、XXXch で緊急警報放送を行っております。	XXXch で緊急放送を行っている。	必要に応じてチャンネルを合わせてください。

memo

付録

ハードウェア仕様

パネルタイプ		TFT 23.6型ワイド	
表示面積(mm)		521.28 (H) × 293.22 (V)	
最大表示解像度		1920 × 1080	
画素ピッチ(mm)		0.2715 (H) × 0.2715 (V)	
表示色		1677万色	
視野角度		上下:160°　左右:170°	
チルト角		上:20°　下:0°	
最大輝度		300cd/m^2	
コントラスト		1000:1	
応答速度		5ms	
入力信号		PCアナログ (D-SUB) 、HDMI 、D映像(D5)、Sビデオ(S1/S2非対応)、ビデオ (コンポジット) 、地上デジタルテレビアンテナ ※本製品では、地上アナログ放送を視聴できません。	
デジタルチューナー機能		放送種類	地上デジタルハイビジョン放送
		受信方式	地上デジタル放送方式 (日本方式)
		受信チャンネル	UHF　13ch〜62ch VHF　1ch〜12ch CATV　13ch〜63ch
		HD (ハイビジョン) 対応	○
		CATVパススルー対応	○
		字幕放送	○
		EPG (電子番組表)	○
		番組視聴予約 (オンタイマー)	×
		データ放送	×
		双方向 (データ放送) サービス	×
同期信号		セパレート同期信号	
外形寸法 (W×D×H)	台座あり	563×218×413 (mm)	
	台座なし	563×40×358 (mm)	
質量	台座あり	約4.8kg	
	台座なし	約4.5kg	
使用温度条件		0℃〜40℃	
使用湿度条件		20%〜80%(結露なきこと)	
定格電圧		AC 100V　50/60Hz	
消費電力		最大時　40W　　待機時　0.7W	
VESAマウントインターフェイス規格(VESA FPMPMI、VESA FDMI)対応		100mm×100mm	
各種規格		J-Mossグリーンマーク、RoHS指令準拠、電気用品安全法、S-mark 、VCCI Class B	

■スピーカー／ヘッドホン端子仕様

音声入力	ステレオミニジャックφ 3.5
スピーカー	内蔵ステレオスピーカー　3W + 3W
ヘッドホン端子	ステレオミニジャックφ 3.5
光デジタル音声出力※	トスリンク
ステレオ音声出力	500mV（rms）、22kΩ 以上

※地上デジタル放送のみ対応しています。
出力は AAC フォーマットのみです。
音響機器と接続する場合は、MPEG-2 AAC デコーダーや、AAC デコーダー内蔵アンプに接続してください。

J-MOSS について

この装置は、「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法（JIS C 0950）」に基づきグリーンマークを表示しております。
化学物質の含有情報は以下をご覧ください。
http://www.iodata.jp/jmoss/



お問い合わせ

デジタル放送に関するお問い合わせ

2011 年 4 月現在の連絡先です。

地上デジタルの受信相談

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター
0570-07-0101 **（IP 電話などでつながらない方は 03-4334-1111）** （平日 9:00 ～ 21:00、土・日・祝日 9:00 ～ 18:00）

受信地域、受信方法など

（社）デジタル放送推進協会（Dpa）
http://www.dpa.or.jp/

miniB-CAS カードについて

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ・カスタマーセンター
0570-000-250 **（IP 電話からは045－680－2868）** 受付 AM10:00 ～ PM8:00（年中無休） **http://www.b-cas.co.jp/**

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

必ず以下の内容をご確認ください



［困ったときには］をご覧ください

➡ 【困ったときには】（ 57 ページ）



弊社サポートページの Q&A を参照

➡ **http://www.iodata.jp/support/**



最新のドライバーソフト等をダウンロード

➡ **http://www.iodata.jp/lib/**



それでも解決できない場合は、 サポートセンターへ

電話： 050-3116-3015

※受付時間　9：00～17：00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）

FAX： 076-260-3360

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

< ご用意いただく情報 >　·製品名 / パソコンの型番·OS

付録

アフターサービス

修理について

修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

ハードウェア保証書

メモ

●氏名	●住所	●電話番号
●FAX 番号	●メールアドレス	●症状

本製品

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷してご利用いただくと便利です。

梱包は厳重に!

弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

紛失をさける為 **宅配便・書留ゆうパック** でお送りください。

〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

●miniB-CASカードは入れないでください。
●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料)
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
●保証内容については、保証規定に記載されています。
●修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft ,Windows および Windows Vista ロゴは、米国または他国における Microsoft® Corporation の登録商標です。
- Windows 7, Vista, XP, 2000 はそれぞれ Windows® 7,Windows Vista®,Windows XP,Windows 2000 Operating system の略称として表記しています。
- Apple, Macintosh, Power Macintosh は、米国 Apple Computer,Inc. の登録商標です。
- HDMI,HDMI ロゴ ,High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- TruSurround XT, SRS と 記号は SRS Labs, Inc. の商標です。
TruSurround XT 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

・本製品の保証条件は、表紙裏の「保証規定」をご覧ください。
・本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

memo

保 証 規 定

1．<保証内容>
取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容に基づき、無料修理します。修理のため交換された本体もしくはユニット単位の部品はお返し致しません。

2．<保証対象>
保証の対象となるのは製品の本体部分のみで、添付ソフトウェアもしくは添付の消耗品類は保証の対象とはなりません。

3．<修理依頼>
修理を弊社へご依頼される場合は、製品と本保証書を弊社へお持ち込み頂けますようお願い致します。送付される場合は、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせて頂きます。また、発送の際は必ず宅配便をご利用頂き、輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用頂き、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願い致します。

4．<保証適応外>
保証書をご提示いただきましても次の場合は有料修理となります。

1） ご購入日から保証期間が経過した場合。
2） 修理ご依頼の際、本保証書のご提示がいただけない場合。
3） 本保証書の所定事項（お名前、ご住所、販売店欄など）が未記入の場合、または字句が書き換えられた場合。
4） 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天変地変、公害または異常電圧による故障もしくは損傷。
5） お買上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃などお取り扱いが不適当なため生じた**液晶パネルの傷を含む**故障もしくは損傷。
6） 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷または接続している他の機器に起因する故障もしくは損傷。
7） 液晶パネル、バックライトの経年劣化。（輝度変化、色変化、輝度および色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）
8） 液晶パネルの表面も含む外装品の損傷、変色、劣化。
9） 取扱説明書の記載の使用方法または注意に反するお取り扱いに起因する故障もしくは損傷。
10） 弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合。
11） その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合。

5．<弊社免責>
本製品の故障、または使用によって生じた保存データの消失など、直接および間接の損害について弊社は一切責任を負いません。

6．<保証有効範囲>
本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
＊本保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お ね が い

本商品および本商品の取扱説明書の内容の一部または全部を弊社の許諾なしに複製することはできません。
本保証書は所定事項が記入されることにより有効となります。
本商品は将来改良のため予告なく変更する場合があります。
本商品、またはこの一部をご利用になる商品を販売される場合は弊社営業までご相談ください。

弊社修理センターのご案内

■修理品送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター

DIOS-242ZR　取扱説明書
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
2011.05.20

ハードウェア保証書

型　番	DIOS-242ZR
保証期間	ご購入日より　12　ケ月間有効です

☆お客様	ふりがな
	お名前
	〒　　☎（　　）　−
	ご住所

☆印の箇所は楷書で明確にご記入ください。

・記載漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられません。ご注意ください。販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。

また、本書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販売店	ご購入日
	住所・店名　　印
	☎（　　）　−

・ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご購入日欄に記入し貴店名/住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買いもとめの販売店または、弊社（裏面修理センター宛）にご依頼ください。

I·O DATA

株式会社アイ・オー・データ機器





デジタルライフの夢を拡げる

株式会社アイ・オー・データ機器

本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/